

公約実現のため7名の議員が力をあわせてがんばります ——県議選挙後初の臨時議会終わる——

臨時県議会が5月7日に開会し、10日閉会しました。長野市区で新人の和田あき子議員を加えた、7名の日本共産党県議団は、県民のみなさんとともに公約実現のためがんばります。

正副議長選挙行われる

8日には、正・副議長選挙が行われ、服部宏昭氏（自民党県議団）が35票（投票総数58票）を獲得。寺島義幸氏（改革・緑新）を破り、議長に当選しました。副議長には、ただ一人立候補した宮沢敏文氏（県民クラブ・公明）が47票を獲得し、就任しました。

日本共産党県議団は、今回の議長選挙に独自候補は擁立せず、「議長になりたいがために自民党県議団に加入した」などの批判が県民からあることや、議会の民主的運営を基準にして、立候補者の所信表明会での発言、質疑を通じて、寺島・宮沢両氏に投票しました。

【石坂ちほ県議団長の談話】

所信表明で、候補のひとは、海外視察の「凍結」を見直す発言がありましたが、県民生活の実態に照らしても問題です。県議会での政務調査費の領収書添付など、情報公開が全国トップの議会改革を後退させず、新正副議長には民主的運営に力を尽くすことを求めています。

各派交渉会規約改正案に賛成

現在の各派交渉会規約では、所属議員が6名以上の会派で「各派交渉会」を構成することになっています。4名の「トライアル信州」から、各派交渉会規約を改正し4名以上にしてほしい、という申し入れがありました。改正には全員協議会で過半数の賛成が必要なため、全員協議会で提案されました。

日本共産党県議団としては、議会運営が民主的に進むことが重要で、5名以下の小会派を数の力で除外することは望ましいことではないこと、現在までの議会改革で、交渉会派でない小会派も各派交渉会の会議にはオブザーバーで参加できることなどから、4名だからという理由で、トライアル信州だけを交渉会派として認めないというのは合理的でないと、石坂ちほ県議団長が意見を述べて改正に賛成しましたが、残念ながら賛成少数で否決されました。

2007年度の担当委員会が決まりました

総務警察……石坂 ちほ
社会衛生……毛利 栄子
農政林務……高村 京子
商工観光生活環境
……藤沢のり子

文教企業……備前 光正
土木住宅……小林 伸陽
和田あき子
議会運営……小林 伸陽
決算特別……和田あき子

*毛利栄子議員は社会衛生委員長、小林伸陽議員は、土木住宅副委員長に！

ご要望をお寄せください

連絡先：日本共産党長野県議団 長野市南長野幅下692-2
TEL 026-237-6266 FAX 026-237-6322

ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp